

おはげん



Withコロナ時代におけるリモート研修の在り方

島根県作業療法士会生涯教育部
部長 岩本 悠

【Web会議ツールを活用してみて】

全世界に感染が拡大した新型コロナウイルスの影響によって、島根県作業療法士会の2020年度事業は大きく方向転換を余儀なくされました。当部においては、事業の柱である現職者共通・選択研修、ツナガル教育研修、臨床実習指導者講習会の日程変更とオンライン開催を進める流れとなりました。

現在、県士会では、オンラインWeb会議アプリ「Zoom」を導入して、理事会や研修会、協会主催の会議等を行っています。リモートの利点としては、感染に対する安全性、交通費や会場費等のコスト削減、自宅や職場等で気軽に受講可能、講師や参加者の顔が見えて面識を持てる、対面での語りかけで緊張感が得られる、全国の参加者とタイムリーに情報交換が出来る等、使ってみて様々にあります。

リモートは、課題が多くあるのも現状です。情報漏洩の可能性がある、集中力が持たない、リモート研修に適した研修内容に変更する必要がある、コミュニケーションがスムーズに取れない（相手の反応が分からない）、個々のオンライン環境によって視聴に支障が起こってしまう等、様々です。課題に対しては、今まで通り90分研修でなく集中力が続く15分間周期にする、声が重ならないようにブレイクアウトルームを利用した少人数でのディスカッションを実施する、個々でオンライン環境が適正かどうか知る等の対策があります。

ただ、当部主催の研修は、協会の生涯教育制度との兼ね合いがあり、自由に変更が出来ない為、次年度以降の課題となっています。

【今後の研修の在り方】

今後、当部主催の研修は、会場とのハイブリット開催、勤務後の夜間複数開催やオンライン決済、ビデオ受講等、会員の皆様が受講し易い環境になるべきであると考えております。しかし、当部は、「マンパワー不足」という課題があり、早急に進めていけないのが現状です。その解決には、皆様の中で受講者側の受身ではなく、主催側として一緒に取り組んで頂ける方を募集しています。認定・専門OTを目指したい方、後輩育成に興味がある方等、気軽に下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

【Zoom使用方法と研修の広報について】

Zoom使用方法については、県士会ホームページに生涯教育部作成のガイドをご参照下さい。

生涯教育部主催Web研修簡単操作ガイド（参加者用）：（県士会ホームページ内）

<http://www.shimane-ot.jp/wp-content/uploads/2020/09/4dcc47fac989ecbaa98d063c9a7cdb9d-1.pdf>

また、今まで研修の広報は、ブロックメール等で行っていましたが、県士会ホームページのカレンダー機能で予定が分かりやすくなっています。そちらの方でもご確認頂き、研修の参加が出来るように、予定を空けて頂ければ幸いです。

【問い合わせ先】

Mail:shimanekyouiku@gmail.com
 一般社団法人島根県作業療法士会
 生涯教育部長 岩本 悠 宛

2020年 11月							月	週	日	
日	月	火	水	木	金	土				
1		2 文化の日	3	4	5	6	7			
8	9	10	11	12	13	14				
15	16	17	18 オンライン...	19	20	21				
22 第35回日本...	23 勤労感謝の日	24	25	26	27	28 令和2年度...				
29 令和2年度...	30	1	2	3	4	5				
6	7	8	9	10	11	12				

『リモートフェスタ2020を企画して』

事業部員 山本 豊和

今年度事業部では、作業療法フェスタに替わる特別企画として「リモートフェスタ2020」を企画しました。

作業療法フェスタが中止となり、集合型以外の方法でそれに替わるイベントの企画が課題にあがり、部会で検討を続けてきました。「写真を募集してはどうか」という案は早い段階からあがっていましたが、テーマや対象、目的などが定まるまでには時間を要しました。「今この状況だからこそできる企画」を意識して準備してきました。多くの方々から案をいただき、作業療法士という職種を活かした企画にまとまったように感じています。

コロナ禍により、今まで当たり前のように行われていた様々な作業が実施できない状況になり、「これからどうなるのだろう」という不安や戸惑いを感じた方々も多いのではないのでしょうか。月日が経過し、振り返ってみると自分の「意味のある作業」に気づけたようにも思います。

このリモートフェスタでは、「元気になれること」をテーマに写真とエピソードを一般の方々から広く募集し、皆様の元気の源となっている作業の魅力が詰まった冊子を作製する予定です。私たち自身も実感した「作業の魅力」を、作業療法士として皆様にお届けしたいと考えています。開始にあたり、朝日新聞島根全県版において、9月25日の「作業療法の日」にちなんで広告を掲載し広報していただきました。県士会員の皆様にもブロックメールを介してお知らせし、広報部の方々の協力のもとホームページにも掲載し、広く広報していただきました。県士会員の皆様にも、作業療法を受けている方々、作業療法士をはじめ医療福祉に携わる専門職の方々、地域の皆様など、広く情報を発信していただければと思っています。

皆様の元気が詰まった素敵な冊子になるように、これからも準備を続けていきたいと思えます。今後ご協力よろしくお願いたします。

テーマ

人は作業をすることで元気になれる

～写真で伝えよう！あなたが元気になれること～

※元気になれることを撮影した写真とエピソードを募集します。

締切

令和2年11月30日（月）当日の消印有効

対象

元気を届けたい方 全て

応募方法

①メールで応募 ②CD-Rを郵送

※詳細はホームページ参照



『あなたが元気になれること』 写真&エピソード大募集！

新しい生活様式の中、ストレスや不安を抱えて生活されている方は多いと思います。

日々の生活の中で、楽しみや何かに夢中になれる時間はありますか？

一般社団法人 島根県作業療法士会では **“リモートフェスタ2020”**を企画し、皆さんの元気を集めた冊子を作製することにしました。

テーマ

人は作業をすることで元気になれる
～写真で伝えよう！あなたが元気になれること～

あなたが元気になれる作業活動、景色、言葉、趣味活動からできた作品……
などを写真に撮り、あなたが元気になれるエピソードと共に送ってください。

締切

令和2年11月30日（月）

（当日の消印有効）

対象

元気を届けたい方 全て

応募方法 「メールで応募」と「CD-Rを郵送」の2通りあります。

※一般社団法人 島根県作業療法士会ホームページの
『リモートフェスタ2020 募集要項』をご確認ください。

島根県作業療法士会



■主催 一般社団法人 島根県作業療法士会

■お問い合わせ 山本豊和（松ヶ丘病院 作業療法士）電話0856-22-8711

県士会長コラム

一般社団法人 島根県作業療法士会
会長 小林 央

毎週末、協会や士会、他団体との会議に足を運ぶことができなくなり、酒宴の席に出かける機会もなくなった代わりに、毎夜のようにパソコン画面に向かい会議へと参加する新しい生活様式に少し気持ちが沈み込みそうになりますが、自宅で子供たちと過ごす時間が増えた今年の夏を振り返っています。

さて、日本作業療法士協会も私たち島根県作業療法士会も COVID -19 の影響を受け、多くの事業が開催見送り、研修事業等が減るなどのご迷惑をおかけしておりますこと、この場を借りてお詫び申し上げます。

現在、年度下半期に向けてウェブ開催形式で事業再開の準備進めております。今年度、島根県作業療法士会では協会生涯教育制度に位置づけられる研修会を除く、士会独自の研修企画はすべて参加費を徴収せず開催する方針として運営を指示しております。ウェブ環境での研修受講や会議打ち合わせ等、今後もうしばらくはこのような形で皆様と情報を共有せざるを得ない状況と考えております。どうかご理解をいただき、新たな生活様式に準ずる新たな研修スタイルでの士会活動への参加にご協力をお願いしたいと存じます。

2021 年度の事業も基本的には対面での研修にウェブ参加を併用したハイブリッド型の企画を原則として準備することで、開催中止や感染の恐れを感じて学びの機会を減らすことのないよう取り組む方針です。また、ウェブ開催となることで生じる幾分かの経費支出軽減をどのように士会活動へ還元するかも検討し、総会議案へ上程することとしておりますので、皆様に審議・ご意見をいただければ幸いです。

皆様の臨床・作業療法の実践成果をいかに士会活動を通じ、広く県民にお伝えできるか、直接的には動きにくい状況下ではありますが下半期の士会活動を活性化して参りますので、皆様どうぞ引き続きよろしくお願ひいたします。

島根県作業療法士会

会員の皆様

広報部長 白鹿 真之介

いつもお世話になっております。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の為に、人が集まるイベント関係は規模の縮小や中止となっています。当会もなかなか対面での研修会を開催できていないのが現状です。

さて、広報部では昨年度よりホームページ一部リニューアルについて検討していましたが、8月下旬よりカレンダー機能を付帯致しました。ホームページのトップ画面中央にあります。当該日付をクリックすれば、案内ページに移るようになっております。今までよりも、研修会などの検索が容易になりました。

また、SNSの強化としてインスタグラムも開設しました。SNS上の情報を元にホームページへたどり着くことで、研修会の詳しい情報を円滑に得ることが可能です。今後の感染症の見通しは分かりませんが、県内外の研修会情報などが増えてきた際に求める情報がより迅速に手に入れやすいように環境を整えていこうと思ひます。

一度、ホームページやSNSを確認してみてください。

たすきりしー

デイケアすずらん

ケアセンターかんどさんよりバトンを渡されました、デイケアすずらんです。

当事業所は松江市にある医療法人が運営を行っています。同じ法人内に、整形外科クリニックと介護に携わる施設として居宅介護支援事業所、訪問看護、訪問介護があり、地域の皆さまの在宅生活を支えています。

OTは残念ながら1名ではありますが、PTや介護福祉士といった他職種

との連携を密にとることができ、新しい視点、考え方を得ることができると感じています。また、在宅生活に近い通所施設は、利用される方の実際の生活状況や、好まれる事を行われる場所等を見たり聞いたりできることもリハビリを提供する上で参考になると感じています。

デイケアではOTの生活行為向上マネジメントを用いた「生活行為向上リハビリテーション実施加算」という加算があります。平成30年度介護報酬改定後、要介護の方だけでなく、要支援の方にも対象が拡大されており、今後、更にOTの活躍できる施設としてなっていく可能性を感じています。まだまだ整っている状況とは言えませんが、より良いリハビリを提供できるよう、精進していきたいと思っています。

今回は東部島根医療福祉センターの皆さんへバトンをお渡しします。よろしくお願いします。



益田市立介護老人保健施設くにさき苑

益田地域医療センター医師会病院さんからご紹介をいただきました。益田市立介護老人保健施設くにさき苑です。当苑はPT4名、OT4名、ST1名のスタッフにより、利用者様が住み慣れた益田地域で安心して自立した在宅生活が続けられる地域づくりを目的とし、入所・短期入所、通所リハビリに加え、訪問リハビリに従事しています。

当苑では「超強化型」介護老人保健施設として、利用者様が在宅生活を送れるように、機能訓練にとどまらず、在宅や地域での生きがいや役割活動を持つことを目的とした畑仕事や調理等の家事動作練習、趣味活動への介入、訪問での動作



練習や指導を積極的に行っています。まだまだ不十分ではありますが、今後も当苑が地域に根ざした施設として、より良いリハビリテーションを提供できるように日々努力していきたいと思っています。

次は、益田赤十字病院さんよろしくお願いします。

男の料理

♪トースターで作るちくわのマヨチーズ焼き♪

トースターで焼くだけで出来る簡単一品です

材料

ちくわ 2本 マヨネーズ 適量
とろけるチーズ 適量
コショウ お好み パセリ お好み

作り方

- ①ちくわを半分に切り、溝の部分にマヨネーズを入れる。
- ②その上にチーズをのせ、お好みでコショウ、パセリを足す。
- ③トースターに入れてしばらく焼いてチーズが溶けてきたら完成です。

調理の工程は簡単にできて便利、お酒のおつまみとしても相性〇です。



ジャスミンの ちょっと一言いかしら

「新しい生活様式。」

秋も深まり、皆さんもそれぞれの秋を楽しんでいるかしら。もちろん私は食欲の秋よ。焼き芋はホクホクよりしっとり派。こんにちは。私はジャスミンよ。ホクホクの焼き芋もいいけど、口の水分を全部持っていかれるの。喋りながら食べると口から飛んでいくから、しっとり焼き芋がいいわ。

さて、今年に入ってから今までの日常は変わってしまったわね。スポーツも芸術も食欲も、その他の秋も様々な制約が出てきています。みなさんの職場に於いても、より厳格なルールを設けている職場もあると思います。

通勤や買い物中に県外の車を見たり、TVで観光客のインタビューに対してヒヤッとしたりイラッとしたりする事がいまだにあるの。反面うらやましくも思ってしまう自分に浅ましさを苛立ちを覚えてしまうわ。もうそんな感情を抱くような時代じゃないのにね。

新しい生活様式という言葉は聞き慣れました。しかし、本当の意味で受け入れる事は自分にとってはもう少し先のような気がします。いつか帰ってくる今までの生活様式を夢見て日々を生きていこう。そして体だけじゃなく、心も大きな人間になりたいわね。

小難しいこと考えていたらお腹減ったわ。さて、どこのランチをテイクアウトしようかしら。

令和2年10月31日 現在 施設数134 会員数532名

一般社団法人 島根県作業療法士会ニュース 年3回発行

□編集担当 白鹿真之介・岩田竜太・足立貴哉・山崎真悟・高木良大・和久利洋平・長谷川藍・山根結衣・石田敦史
□投稿(400字程度)、提案、情報提供を歓迎します。

発行所 一般社団法人島根県作業療法士会

島根県大田市大田町吉永1428-3 大田市立病院作業療法室内

発行者: 小林 央/編集者 岩田竜太・白鹿真之介

印刷: 障がい者支援施設 授産センターよつば (〒690-0131 松江市打出町43)